

RF-6000用 低温測定装置 簡易マニュアル

1. 設置場所

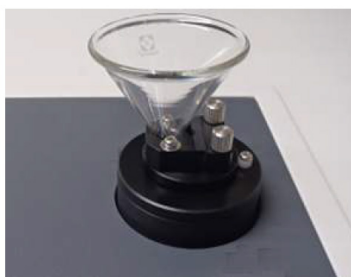
装置の性能を十分に発揮させ、また長期にわたって安定した状態で使用するために、次の条件を満たす場所で測定を実施してください。

- 使用時の室温が15～35℃であること。
- 使用時の湿度が45～80%であること。
- 直射日光があたらないこと。
- 強い振動の発生はもとより、微弱な振動でも継続して発生する場所でないこと。
- 強い磁場または電磁波がないこと。
- 侵食性のガスや紫外域に吸収性を持つ有機、無機ガスがないこと。
- ほこりが少ないこと。

2. 測定

2-1. 液体窒素の注入

図のようにフタの穴に、本製品に含まれるロートを差し込みます。この状態で溢れない程度に液体窒素を注ぎ込みます。

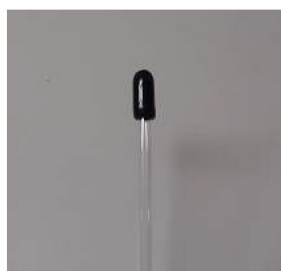


注意

デュワーは常に汚れがない状態で清潔に維持してください。デュワー内に水滴あるいは汚れがあると、気泡が発生する原因になります。使用後は必ず完全に乾燥させてください。水滴がある場合は乾燥空気を吹きつけて完全にデュワー内を乾燥させてください。

2-2. 試験管の準備

- (1) まず試料入りの試験管を凍結させるため、液体窒素を満たした容器を準備します。
- (2) 試験管に測定するサンプルを入れます。極微量の液体試料の場合は、ピペッタで試験管口に注入したあと、試験管先を持って振ると、試験管先端部に溜めることができます。
- (3) サンプルを入れた試験管を試験管先端からゆっくりと液体窒素を満たした容器に浸けて、先端部から徐々に凍らせます。
- (4) 完全に凍結したあと、試験管開口部に本製品に含まれるキャップを取り付けます。



- (5) 固定ローレットネジを緩めたあと、キャップを被せた試験管をV次型スペースに差し込み、ブロックで軽く挟み込むように固定します。試験管キャップは試験管がデューワー内への落下防止になります。この状態で測定を開始します。

注意

サンプルが入った試験管をあらかじめ設置したあとで、液体窒素を注入すると、試験管が割れる事があります。

2-3. デューワー表面の曇り防止

液体窒素を入れると、デューワーの表面が使用環境によって曇る可能性があります。曇り防止のため、本製品は試料室前板のジョイントから乾燥空気を直接拭きつけられる構造になっています。供給するガス容量は、1L/min を目安にしてください。

連絡先：田所研究室（内線5781）